

はくぶつかんクラブ

平成22年6月19日(土) 10:00~11:30

ほっぽうみんぞくはくぶつかん 講堂
北方民族博物館

“サケの皮でしおり&バッジづくり”

ほっぽうみんぞく(寒さのきびしい、世界の北のほうで昔からくらししてきた人びと)は、生活に使うものは、身のまわりの動物や植物を材料にして、自分たちで作ってくらししていました。

ロシアのアムール川あたりにくらす人びとは、魚の皮も使いました。魚の皮は『なめす』という作業で、布のようにやわらかくじょうぶになります。水をはじくことから、服やくつなどの材料として使われました。

今日は、本物のサケの皮を使って、世界にひとつだけの魚型しおりとバッジをつくります!

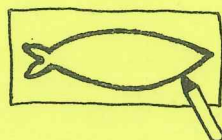
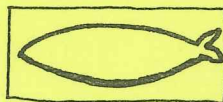
つくりかた

材料

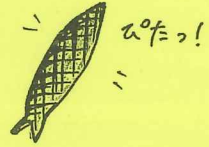
*サケ皮	2枚	*厚紙	2しゅるい1枚ずつ
*革ひも	1本	*安全ピンつきの革	1つ

①しおりをつくります。

- ① 型紙をつくります。しおり用の厚紙に、えんぴつで自分の好きなデザインのサケをかきます。かきおわったら、はさみで切りとります。
- ② 型紙をサケ皮の白っぽい面にあてて、黒ペンでふちどります。つぎに、型紙をうら返して、同じようにふちどります。おわったら2枚ともはさみで切りとります。



- ③ きりとったサケ皮^{かわ}どおしをボンドではりつけます。(どちらか1枚^{まい}の白っぽい面^{めん}にボンドをうすくぬってきれいにはり^あ合わせます。)



- ④ 穴^{あな}をあけて、革^{かわ}ひも^{むす}を結んでしおりのできあがり!!

～ 革^{かわ}ひもの結^{むす}ぶかた～



ふたつにおって...



穴^{あな}に入れて...

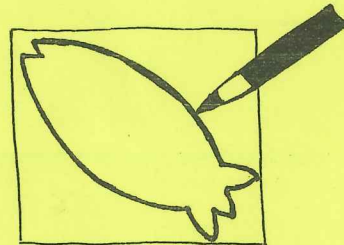


先^{さき}をとおす。

くるっ!

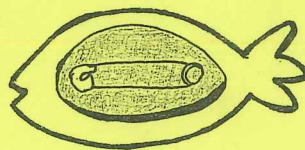
② バッジをつくります。

- ① 型紙^{かたがみ}をつくります。バッジ^{よう}用の厚紙^{あつがみ}に、えんぴつで自分のすきなデザイン^{じぶん}のサケをかきます。(※厚紙^{あつがみ}の大きさをめい^{おお}いっぱい使^{つか}ってかこう!) かきおわったら、はさみ^きで切りとります。



- ② 型紙^{かたがみ}をサケ皮^{かわ}の白っぽい面^{しろめん}にあてて、黒ペン^{くろ}でふちどります。おわったらはさみ^きで切りとります。

- ③ 安全ピン^{あんぜん}つきの革^{かわ}にボンドをぬって、きりとったサケ皮^{かわ}の白っぽい面^{しろめん}にはりつけて、バッジ^めのできあがり!! (目^めをつけたり、かいたり、全体^{ぜんたい}にペン^{いろ}で色^{いろ}をぬってもいいよ!)



とてもめずらしいサケ皮^{かわ}のしおり&バッジのできあがり～♪♪

